

1. 科目名 (単位数)	心理学研究法 (4 単位)	3. 科目番号	EDPS3301
2. 授業担当教員	成本 忠正		
4. 授業形態	講義・実習・演習(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門、心理学概論、統計学、心理統計法、心理学基礎実験の全てを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>心理学は、具体的に見ることのできない人の心を対象としていることから、一般の人にも興味を持たれやすい学問であり、身近なもののように思われる。しかし学問としての心理学は実証科学としての性格を持っており、具体的に見ることのできる対象を扱う自然科学の方法論と共通するところが多い。そのため、心理学を研究する際、具体的に見ることのできない心を見えるようにするための工夫が求められることから、人の心という対象を実証科学的に扱う方法は、本質的な難点を伴っている。</p> <p>そこで、本科目では、心理学を科学として研究するための代表的な方法である実験法、調査法、観察法、検査法、面接法等について、それぞれの長所短所の両面、並びに研究における倫理を学び、実践するための質及び量のデータを用いた実証的な思考方法を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的研究方法(量的研究および質的研究)の手順を理解する。 2. 心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。 3. 心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、自ら考え、実践できるようになる。 4. 心理学研究における倫理とそれを遵守することの重要性を理解する。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1 心理学研究で得られた知見について詳細にリサーチし、それが社会(福祉・教育・企業)でどのように貢献しているのかについてレポートを作成する。 2 各テーマの終了後に簡単な小テスト(15分程度)を実施する。 3 演習・グループディスカッションの結果を発表する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】南風原朝和編著『心理学研究法入門：調査・実験から実践まで』東京大学出版会、2001。</p> <p>【参考書】中澤潤他著『心理学マニュアル(要因計画法)』北大路書房、2000。 中澤潤他著『心理学マニュアル(観察法)』北大路書房、1997。 中澤潤他著『心理学マニュアル(質問紙法)』北大路書房、1998。 中澤潤他著『心理学マニュアル(面接法)』北大路書房、2000。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的方法の手順を理解していること 2. 心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できること 3. 心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、倫理的な問題を含めて、自ら考え、実践できること <p>○評定方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加)30%、グループ発表 30%、試験(小テスト、課題レポート)40%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本講義は、実際的な問題をいかに心理学の研究に載せて検討し問題解決に至るかに重点を置いている。従って、援助職などに多大な興味のある学生を前提としている。そこで、学生には以下のことを守って頂きたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 居眠りや私語は禁止。 2. 授業には、予習をして積極的態で臨むこと。理解できないことがあれば、授業以外でも質問し、仲間同士で研鑽して欲しい。 3. レポートの提出期限は厳守すること。レポートの提出期限が守られない場合は、正当な理由がない限り、受け取り拒否となる。 4. 欠席、遅刻、早退をしない。正当な理由により、欠席等をした場合にはその理由を書面にして報告する。 		
13. オフィスアワー	授業 1 回目に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	講義ガイダンス(授業の進め方) 心理学研究法とは何か?	事前学習	教科書【心理学の研究とは】を読む。
		事後学習	研究の意義について理解する。
第 2 回	研究法の種類とそれぞれの特徴を理解する	事前学習	教科書【心理学研究の特徴とその過程】を読む。
		事後学習	探索型研究と検証型研究について復習する。
第 3 回	質的研究：観察法の論理を理解する 1	事前学習	教科書【質的調査】を読む。
		事後学習	観察法で何がわかるのかについて復習する。
第 4 回	質的研究：観察法の論理を理解する 2	事前学習	配付資料【観察法】を読む。
		事後学習	観察法の利点と限界について復習する。
第 5 回	質的研究：面接法の論理を理解する 1	事前学習	教科書【質的調査】を読む。
		事後学習	面接法で何がわかるのかについて復習する。
第 6 回	質的研究：面接法の論理を理解する 2	事前学習	配布資料【面接法】を読む。
		事後学習	面接法の利点と限界について復習する。
第 7 回	量的研究：実験法の理論を理解する 1	事前学習	教科書【実験の理論と方法】を読む。
		事後学習	実験法で何がわかるのかについて復習する。
第 8 回	量的研究：実験法の理論を理解する 2	事前学習	配付資料【実験法】を読む。
		事後学習	実験法の利点と限界について復習する。

第9回	量的研究：調査法の理論を理解する1	事前学習	教科書【量的調査】を読む。
		事後学習	量的調査で何がわかるのかについて復習する。
第10回	量的研究：調査法の理論を理解する2	事前学習	配付資料【質問紙法】を読む。
		事後学習	質問紙法の利点と限界について復習する。
第11回	演習①：質的な調査法を習得する	事前学習	質的研究について復習しておく。
		事後学習	カイ二乗検定の利点を理解する。
第12回	演習①：質的な調査法を習得する	事前学習	グループで質問紙を作成する。
		事後学習	グループで質問紙を作成する。
第13回	演習①：質的な調査法を習得する	事前学習	グループで調査を実施する。
		事後学習	グループで調査を実施する。
第14回	演習①：質的な調査法を習得する	事前学習	グループでデータを集計・分析する。
		事後学習	グループでデータを集計・分析する。
第15回	演習①：質的な調査法を習得する	事前学習	グループでデータを集計・分析する。
		事後学習	グループでデータを集計・分析する。
第16回	演習①：調査結果の発表準備	事前学習	グループで結果の発表準備をする。
		事後学習	グループで結果の発表準備をする。
第17回	演習①：調査結果の発表準備	事前学習	グループで結果の発表準備をする。
		事後学習	グループで結果の発表準備をする。
第18回	演習①：調査結果のグループ発表	事前学習	口頭発表。
		事後学習	口頭発表。
第19回	演習①：調査結果のグループ発表	事前学習	口頭発表。
		事後学習	口頭発表。
第20回	演習②：量的な調査法を習得する	事前学習	量的調査の利点について復習しておく。
		事後学習	SD法の有用性について理解する。
第21回	演習②：量的な調査法を習得する	事前学習	グループで質問紙を作成する。
		事後学習	グループで質問紙を作成する。
第22回	演習②：量的な調査法を習得する	事前学習	グループで調査を実施する。
		事後学習	グループで調査を実施する。
第23回	演習②：量的な調査法を習得する	事前学習	グループでデータを集計・分析する。
		事後学習	グループでデータを集計・分析する。
第24回	演習②：量的な調査法を習得する	事前学習	グループでデータを集計・分析する。
		事後学習	グループでデータを集計・分析する。
第25回	演習②：調査結果の発表準備	事前学習	グループで結果の発表準備をする。
		事後学習	グループで結果の発表準備をする。
第26回	演習②：調査結果の発表準備	事前学習	グループで結果の発表準備をする。
		事後学習	グループで結果の発表準備をする。
第27回	演習②：調査結果のグループ発表	事前学習	口頭発表。
		事後学習	口頭発表。
第28回	演習②：調査結果のグループ発表	事前学習	口頭発表。
		事後学習	口頭発表。
第29回	心理学研究法の意義	事前学習	心理学研究法の社会的貢献を理解しておく。
		事後学習	心理学研究法の意義について復習する。
第30回	講義のまとめ	事前学習	心理学研究の意義とは何かを考える。
		事後学習	これまでの授業内容を自分なりにまとめ、心理学研究法の重要性を理解する。